

いつまでも美しく、サビを知らないオールステンレス製

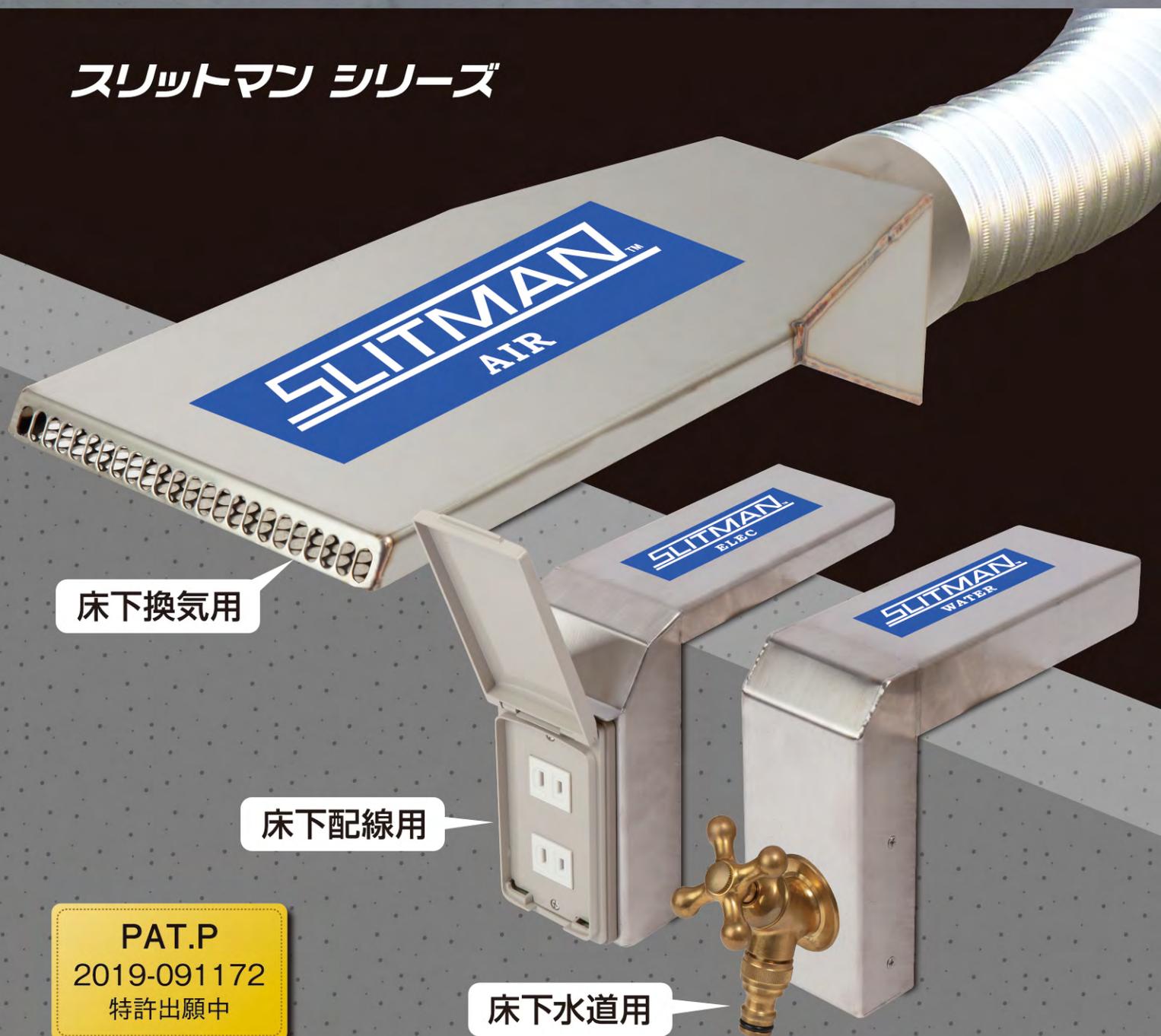
2cm 

ダイカロット
パッキン使用例

スキマを狙え!

パッキン工法の
基礎と土台のスキマに収まる
アイデア建材シリーズ

スリットマン シリーズ



床下換気用

床下配線用

床下水道用

PAT.P

2019-091172

特許出願中

SLITMAN™

防犯灯・外部作業機用の屋外電源が 家の外周どこにでもつけられる!

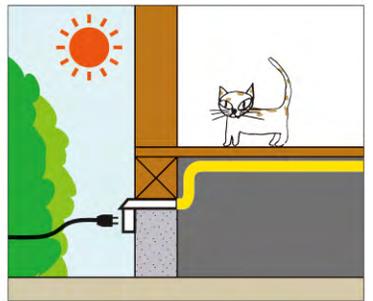
基礎と土台のスキマを

電気が通る。

SLITMAN™

ELEC

「スリットマン・エレクトリック」は、土台下の2cmのスキマを利用。床下からの配線用ガイドと、屋外コンセント固定金具を一体化した製品です。壁面への穴あけ工事などがいらぬ上、シンプルで美しい仕上がりです。



いくらあっても、どこにあっても、
重宝するのが外部コンセントです。

庭園外灯用、エアコン用のほか、高圧洗浄機など、電気で作動する道具や器具がますます増える今後、家の周囲にいくつでも、どこにでも必要になるコンセント。「スリットマン・エレクトリック」なら、どこにでもいくらでも設置できます。



右：コンセントカバー設置例

※別売のコンセントカバーが必要です。

スリットマンの仕上がりは、こんなにもスリムで美しい。



33mm高タイプ 18mm高タイプ

基礎と土台のスキマ、目立たない低い位置にこっそり設置できるスリットマン・シリーズ。家の外観をまったくそこなうことなく、充実した機能性を備えることができるアイデア製品です。

SLITMAN
ELEC

SLITMAN
AIR

SLITMAN
WATER

散水・洗車用屋外蛇口が基礎から生える？ なるほど!これなら凍結・破損の心配がない。

基礎と土台のスキマを
水道が通る。

SLITMAN™
WATER

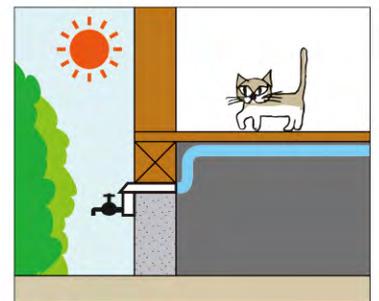
アルミフレキシブル配管用

18mm高タイプ



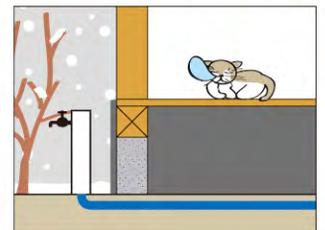
塩ビ管用

33mm高タイプ



凍結、破損の心配がありません。

従来の独立した支柱を立てる方式では、地下に水道管を埋設する工事が必要な上、冬には凍結や破損の心配がありました。



※18mm高タイプには、別売のアタッチメントおよびカバーが必要です。

施工手順

①スキマを修正する。

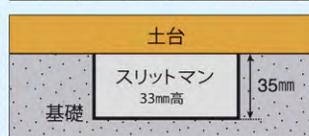
・パッキン工法に「18mm高タイプ」をアルミフレキシブル管と組み合わせる場合は、スキマ修正は不要です。



・パッキン工法に「33mm高タイプ」を組み合わせる場合、コンクリート基礎をあと15mm切り欠きます。



・基礎に直接土台をのせる工法の場合、基礎に20mmまたは35mmのスタイロを入れてコンクリートを打ちます。



②基礎の上にパッキンを置き、土台をのせる。
(まだスリットマンは挿入しません)

③スリットマンにあらかじめ周辺配管を済ませる。



※「18mm高タイプ」に塩ビ管を設置する場合は、管の厚み分だけ基礎を少し切り欠く必要があります。

④必ず、水切りをセットする前に、外側から配管つきのスリットマンを挿入する。

⑤床下の配管を完了する。

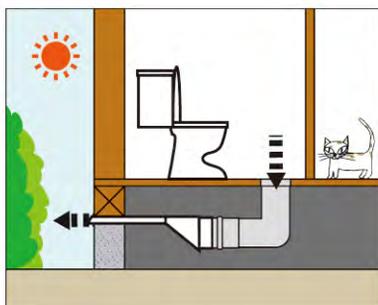
壁や基礎に大きな穴を開けなくても、
床下から排気・吸気ができる!

基礎と土台のスキマを

空気が通る。

SLITMAN™
AIR

基礎と土台のスキマから、18mm×200mmの
細いグリルがのぞくだけ。これが
「スリットマン・エアー」の
美しい排気口。



トイレの換気、キッチンの排気・排煙に

パッキン工法によって生まれる基礎と土台の2cmのスキマに「スリットマン・エアー」をセットすれば、室内の汚れた空気を床下を通して戸外に排出できます。また汚れた空気の排出口としてだけでなく、ここからキレイな空気を吸いこむ吸気口としても使えます。工期が短縮できるうえ、仕上がりもスッキリ。壁面からの突出もありません。

三次元耐震補強のコボットが取扱うアイデアあふれる床下建材シリーズ

鋼板製・基礎パッキン

全周空気が通る、サビに強い
特殊金属製床下パッキン。



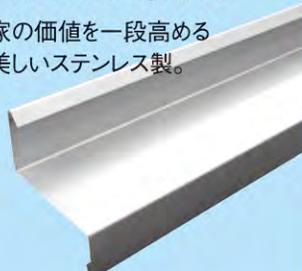
ステンレス防鼠材

何十年たっても、経年変化によってもろくなったり腐ったりしない
ステンレス製。



ステンレス水切り

家の価値を一段高める
美しいステンレス製。



床下鋼製束(束一発)

作業時間10分の1。
ワンタッチで決まる
スピード床下束。



※製品の改良により仕様・寸法・価格等が予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

●壊れず、腐らず、健康快適に暮らせる木の家を

コボット株式会社



〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1丁目17番5-251

TEL 06-6379-2929・FAX 06-6323-5159

ホームページアドレス <http://www.cobot.co.jp>

住宅用建材市場

コボットネットショップ

検索

取扱店

SLITMAN™

床下配線用 **ELEC**

床下水道用 **WATER**

床下換気用 **AIR**

設置手順説明書

注 基本的な工事手順として、土台をのせる前にスリットマン関連設備工事を完了されるのがおすすめです。

基礎の上に土台をのせた後に、土台下のスキマにスリットマンを差し込む手順でも施工可能ですが、器具の設置や配線・配管のしやすさから、上記の手順のほうが仕事が早く簡単です。



基礎と土台のスキマを

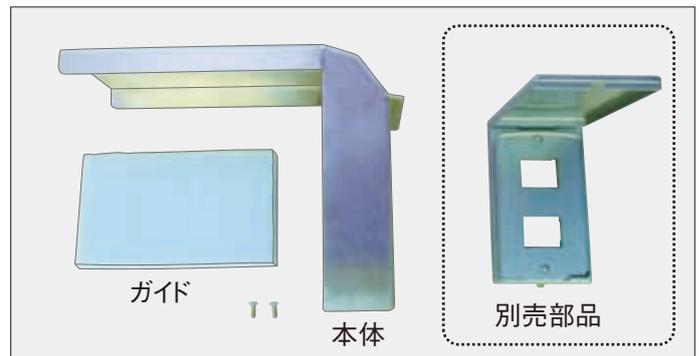
電気が通る。

SLITMAN™

ELEC

① 別売の外部コンセント用アタッチメントを用意する。

スリットマンELECには、本体と設置位置決めに役立つガイドが付属していますが、コンセントカバーなど別売の部品が必要となります。



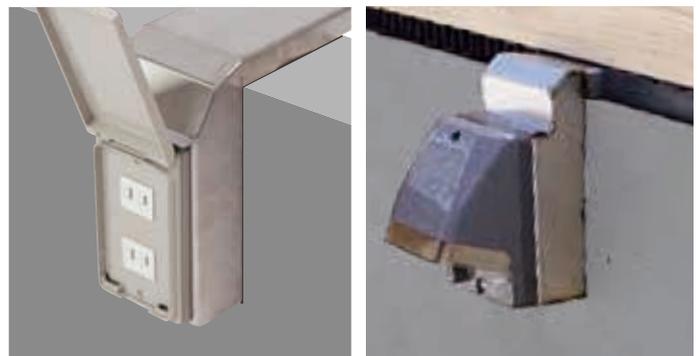
② スリットマンにアタッチメントを固定し、配線を完了する。

アタッチメントをネジ止めし、必要な周辺配線を行います。



③ スリットマンを予定の位置に設置し、固定する。

基礎の上の予定の位置にしっかりと取り付けます。



④ コンセントカバーを取付けて、設置完了。

最後にカバーをつければ出来上がりです。

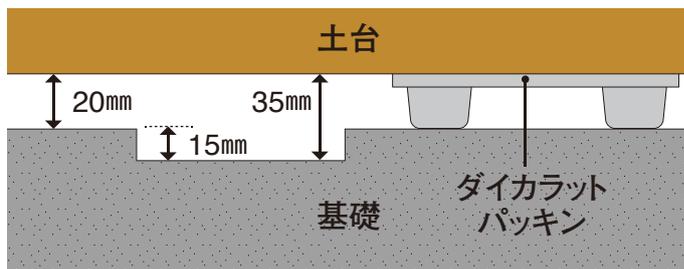
基礎と土台のスキマを

水道が通る。

SLITMAN™

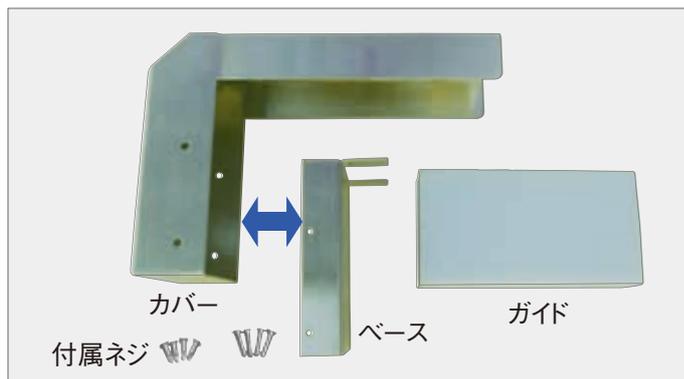
WATER 33mm高タイプ

スリットマンの設置に先立って、基礎をあと約15mmの深さに切り欠く作業が必要です。



① カバーとベースに分解する。

本体の両側面の4本のネジを外して、カバーからベースを引き抜いてください。
他に設置位置決め用のガイド、座付エルボ取付用ネジ(4本)が付属していますが、その他の配管用部品は、別途で準備が必要です。



② エルボを固定し、配管

両ルーズエルボ使用の場合

分解したカバーの内側にエルボを固定します。メッキリングを締め付けた上で、リングをボルトで固定してください。



座付エルボ使用の場合

①で分解したベースにエルボを固定します。ベースの+マークに蛇口取付センターがくるよう位置決めをしてください。

ネジ止めした場合は、貫通した裏側への突出部分をサンダーで削る必要があります。

※ベースには、セキスイ製またはBS製エルボに対応した取付穴がありますが、他メーカー使用の場合は取付穴をあけてください。



③ カバーを取付け、蛇口をセット

両ルーズエルボ使用の場合

ベースを基礎の予定位置に固定。これに配管・エルボ付のカバーをかぶせてネジ止めします。スペーサーをかまして蛇口を取付け完了。

座付エルボ使用の場合

配管・エルボ付ベースを基礎の位置に固定。これにカバーをかぶせてネジ止めします。最後に蛇口を取付けて完了。



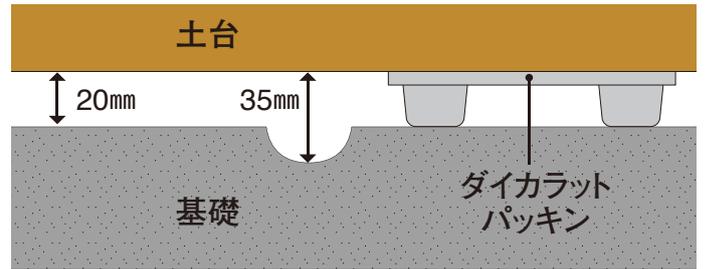
基礎と土台のスキマを

水道が通る。

SLITMAN™
WATER 18mm高タイプ

塩ビ管使用の場合、配管部分の基礎を図のように少し切り欠く加工が必要です。

（アルミフレキシブル管使用の場合は、土台下の20mmのスキマで、すべての設置・配管が可能です。）



① 水道用蛇口アタッチメントを用意する。

ボディには設置位置決め用のガイドが付属していますが、そのほかの配管用部品やカバーは別途ご準備が必要です。



② 座付エルボーを基礎に固定する。

塩ビ管、アルミフレキシブル管ともに、周辺配管を施した上で、基礎の予定の位置に固定します。



③ ボディをかぶせ、基礎に固定する。

蛇口取付位置のセンターを確認しながら、ボディをかぶせ、基礎に固定します。



④ カバーに穴をあけ、蛇口を取付ける。

カバーの蛇口取付位置に、 $\phi 35\text{mm}$ または $\phi 38\text{mm}$ の穴あけ加工を施します。これを本体にネジ止めし、蛇口を取付けて完了。



基礎と土台のスキマを

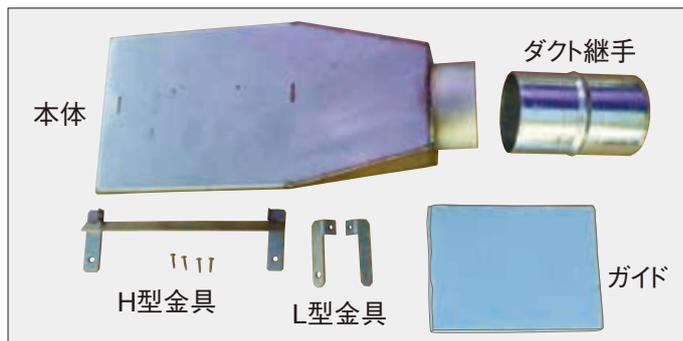
空気が通る。

SLITMAN™

AIR

① スリットマンAIR一式を確認。

スリットマンAIR本体のほか、固定用H型金具×1、L型金具×2、それぞれの取付ネジ×4、設置位置決め用のガイド、φ100mmダクト継手が付属しています。
(排気口幅300mm、ダクトφ150mmタイプにはダクト継手は不要です)



② 本体に固定用穴あけ加工。

ボディ本体側面にH型金具、L型金具を固定するためのネジ穴加工が計4ヶ所必要です。穴の位置は、本体の突き出し量、基礎の厚みによって決定してください。



③ 基礎の上へのせ、固定する。

②の穴に、H型とL型金具をネジ止めしたうえ、基礎の上へのせて予定位置に固定します。



④ ダクトを接続して完成。

ダクト、ファンなど周辺配管を行なって、工事完了です。

スリットマンの固定は、コンクリート用接着剤で必要かつ十分です。

スリットマン本体や関連機器の基礎への固定は、コンクリートボンドなどを使用。作業の大幅な効率アップがはかれます。さらに強固な固定を望まれる場合は、下穴をあけタッピングビスをご使用ください。

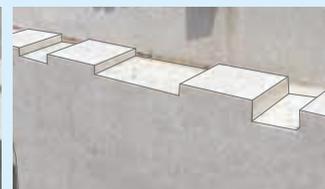
パッキンを使わず、基礎に直接土台をのせる工法にも使えます。



土台下にスキマはありませんが、基礎を打つ時にあらかじめスリットマン設置予定位置に、付属のガイド(スタイロ製)を利用して凹みを作っておけば、スキマなくピッタリとスリットマンを設置することが可能です。



コンクリート打設時に、ガイドのスタイロを予定位置の基礎の上に埋め込む



養生後ガイドを外せば、それぞれのスリットマンにピッタリの幅と深さの凹みが完成

※製品の改良により仕様・寸法・価格等が予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

●壊れず、腐らず、健康快適に暮らせる木の家を———

コボット株式会社



〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1丁目17番5-251
TEL 06-6379-2929・FAX 06-6323-5159
ホームページアドレス <http://www.cobot.co.jp>

取扱店